

海溝型地震部会2014年度報告会

日時 2015年2月10日10時～18時
 場所 東京大学地震研究所会議室(1号館3階)

開始時間	終了時間	発表時間	課題番号	発表者	発表タイトル
10:00	10:10	10		東京大学地震研究所 小原 一成	挨拶・全体説明
10:10	10:30	20	1509	東京大学地震研究所 小原 一成	プレート境界すべり現象モニタリングに基づくプレート間カップリングの解明
10:30	10:50	20	1510	東京大学地震研究所 五十嵐 俊博	相似地震再来特性の理解に基づく地殻活動モニタリング手法の構築
10:50	11:10	20	1910	京都大学防災研究所 西村 卓也	短スパン伸縮計等を活用した西南日本における短期的SSEの観測解析手法の高度化
11:10	11:20	10	6003	国土地理院 小沢慎三郎	プレート境界面上の滑りと固着の時空間変化の広域的な把握
11:20	11:30	10	3002	防災科学技術研究所 松澤 孝紀	基盤地震観測等データのモニタリングによる地殻活動の理解と予測技術の開発
11:30	11:50	20	1503	東京大学地震研究所 篠原 雅尚	日本海溝・相模トラフプレート境界で起こる多様なすべり現象の包括的モデル構築
11:50	12:05	15	4001・4002	海洋研究開発機構 堀 高峰	先端的掘削技術を活用した総合海洋掘削科学の推進, 海域地震発生帯研究開発
昼休み					
13:30	13:45	15	2301	鹿児島大学 八木原 寛	海域と島嶼域における地震・地殻変動観測による南西諸島北部のプレート境界域テクトニクスの観測研究
13:45	14:05	20	1524	東京大学地震研究所 望月 公廣	日・米・NZ国際協力によるスロースリップでのプレート境界面断層滑りメカニズムの解明
14:05	14:15	10	1210	東北大学 木戸 元之	海溝軸近傍で観測可能な海底地殻変動観測技術の開発
14:15	14:35	20	1521	東京大学地震研究所 塩原 肇	海底での地震・地殻変動観測に向けた観測技術の高度化
14:35	14:55	20	8001・8002	海上保安庁 石川 直史	海底地殻変動観測, 海洋測地の推進
14:55	15:15	20	1801	京都大学理学研究科 平原 和朗	地震サイクルシミュレーションの高度化
15:15	15:30	15	3001	防災科学技術研究所 山下 太	地殻活動の観測予測技術開発に関する研究
休憩					
15:50	16:10	20	1507	東京大学地震研究所 中谷 正生・東大	次世代プレート境界地震発生モデル構築のための実験的・理論的研究
16:10	16:20	10	公募課題	静岡大学 平内 健一	模擬断層物質の脆性-準脆性遷移における力学的挙動と破壊伝搬の特徴
16:20	16:40	20	1201	東北大学 中島 淳一	スラブ内地震の発生メカニズムの解明
16:40	17:00	20	1904	京都大学防災研究所 澁谷 拓郎	南海トラフ巨大地震の予測高度化を目指したフィリピン海スラブ周辺域の構造研究
17:00	17:20	20	5004	産業技術総合研究所 宍倉 正展	海溝型巨大地震の履歴とメカニズム解明
17:20	17:40	20	1002・1803・7002・1703	小原 一成・西村 卓也	代読(1002・1803・7002・1703)
17:40	18:00	20		小原 一成・西村 卓也	今年度のまとめに向けて